

A-19 東北地方養蚕農家の住生活（その2）

東北大学 佐々木嘉彦

福島大学○岡村 益・高橋キヨ子・辻 英子

小野栄子

この報告は福島県の養蚕地帯伊達郡の梁川町栗野地区で行った住生活調査の報告で、養蚕農家の住居に対する諸要求と、住生活における諸矛盾を明らかにしようとするものである。住生活に作用する諸条件を検討し、さしあたり二つの農家型（A、B型——内容略）について観察を行ったが、今回は次の各項について報告する。

1. 調査目的、対象及び方法
2. 栗野地区養蚕農家の間取り
3. A型農家における住生活
4. B型農家における住生活*
5. 結語

*この項の一部は日本家政学会東北支部研究報告第1号に報告したが、ここでは総括して報告する。